

テーマ	引当金、退職給付会計				
学籍番号					氏 名

1. 次の文章の空欄にあてはまる語句を答えなさい。

- ・ 将来の（ ① ）であって、その発生が（ ② ）の事象に起因し、発生の可能性が高く、かつ、その金額を（ ③ ）ができる場合には、当期の負担に属する金額を当期の費用又は損失として引当金に繰入れる。
- ・ 年金資産とは、（ ④ ）制度に基づき退職給付に充てるため積み立てられている資産をいう。
- ・ （ ⑤ ）とは、退職給付水準の改定等に起因して発生した退職給付債務の増加又は減少額をいう。
- ・ 当期の勤務費用及び（ ⑥ ）は退職給付費用として処理し、企業年金制度を採用している場合には、年金資産に係る当期の（ ⑦ ）相当額を差し引くものとする。

①	特定の費用又は損失	②	当期以前	③	合理的に見積もること
④	企業年金	⑤	過去勤務債務	⑥	利息費用
⑦	期待運用収益				

2. 次の資料に基づき、（1）期中の仕訳（退職給付引当金見積りの仕訳）と（2）決算時の仕訳（差異の認識）を示し、（3）損益計算書の退職給付費用および（4）貸借対照表の退職給付引当金の金額を示しなさい。

【資料】

- ① 期首の退職給付債務は 400,000 千円、年金資産は 240,000 千円、退職給付引当金は 148,000 千円、費用処理されていない過去勤務債務（未認識過去勤務債務）は 12,000 千円（借方）である。
- ② 当期の勤務費用は 26,000 千円、利息費用の利率は 4%、期待運用収益率は 3%である。
- ③ 未認識過去勤務債務の残存償却期間は 6 年である。

（単位：千円）

	借方	貸方
(1)	退職給付費用 34,800	退職給付引当金 34,800
(2)	退職給付費用 2,000	退職給付引当金 2,000

(3)	36,800 円	(4)	184,800 円
-----	----------	-----	-----------